

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(2年制写真科(昼間部))

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考		
実習	写真表現基礎演習	120	○	120					
実習	写真撮影基礎演習	120	○	120					
実習	画像処理Ⅰ	120	○	120					
実習	画像処理Ⅱ	120	○	120					
実習	スタジオ演習	120	○	120					
講義	現代写真論	120	○	120	☆	120			
実習	ゼミナール	120	○	120					
実習	作品制作演習Ⅰ・Ⅱ	120							
実習	フォローアップ講座	120	○	120					
実習	ポートレート演習	120	○	120					
講義	コマーシャル基礎ゼミ	120	○	120			1ゼミを選択		
講義	ポートレート基礎ゼミ		○	120					
講義	ドキュメンタリー基礎ゼミ		○	120					
講義	フォトクリエイティブ基礎ゼミ		○	120					
実習	写真創作演習	480	○	120			専攻ゼミに応じて4科目を選択して受講		
実習	取材撮影演習		○	120	☆	120			
実習	ポートレートライティング		○	120					
実習	スタイルライフライティング		○	120	☆	120			
実習	スタジオライティング		○	120	☆	120			
講義	ヴィジュアルディレクション		○	120					
講義	映像表現論		○	120					
講義	写真表現演習		○	120					
講義	写真美術史		○	120					
実習(選択)	フォトクリエイティブ演習Ⅰ		600	○	120				選択科目のうち5科目を選択し受講
実習(選択)	フォトアート演習	○		120					
実習(選択)	写真創作演習Ⅱ	○		120					
実習(選択)	Web表現演習	○		120					
実習(選択)	ビジュアルデザイン	○		120					
実習(選択)	マガジンメイキング								
実習(選択)	文章表現演習Ⅰ	○		120					
実習(選択)	風景写真演習	○		120					
実習(選択)	ムービー制作演習	○		120					
実習(選択)	デジタル表現演習	○		120					
実習(選択)	ダークルーム	○		120					
実習(選択)	ルポルタージュ演習	○		120					
講義(選択)	写真史	○		120					
講義(選択)	写真科学	○		120					
講義(選択)	編集出版論	○		120					
講義(選択)	ドキュメンタリー写真論	○		120					
講義(選択)	英会話	○		120					
講義(選択)	メディア論	○		120					
講義(選択)	美術造形論								
講義(選択)	社会学	○		120					
講義(選択)	異文化交流演習(留学生必修)	○		120					
総授業時数		2,400			4,920		480		
卒業に必要な授業時数		2,400							

2021		区分	必修	対象	I部1年生
科目名	現代写真論				
開講期	前後期	単位数	3		
講師名	鳥原 学				
授業概要 到達目標	<p>写真は「撮る」「見る」「撮られる」という三つの要素で成り立っています。より良い写真を「撮る」ために、写真家には写真を「見る」能力と、「撮られる」側のことを考える能力が不可欠。これは、多くの写真を見ることでしか身につけません。それも自分のセンスに頼るだけではなく、ポイントを押さえて考えながら見る。現代の写真表現は非常に多様であり、使う技術や発表するメディア、なによりテーマの幅が非常に広いからです。この授業ではジャンルごとに現代写真の流れを紹介しながら、資料的な映像の鑑賞などを行い、理解を深めていきます。毎授業後に授業レポートを提出し、理解を深めます。これらを通じて、受講生の写真を「見る」能力と「撮られる」側のことを考える能力を身につけます。</p> <p>授業構成は前期が基礎として「表現とコミュニケーション」、後期が「多様な表現」をテーマとしています。テキストとして「現代写真論テキスト2021年度版」を使用します。</p>				
授業計画	回数	主題・目的	授業予定		
前期	1	オリエンテーション	オリエンテーション(学校でのワークショップ形式)		
	2		カメラの楽しみを知る(三葉堂写真機店)		
	3		イントロダクション「カメラとこの社会」		
	4		ポートレート「写真の社会的役割」		
	5		ポートレート「理想と現実」		
	6		スナップショット「手軽な写真」		
	7		スナップショット「”決定的瞬間”以降」		
	8		ビジュアルコミュニケーションの誕生「1920~30年代の映像実験」		
	9		報道とドキュメント 1「記録と宣伝」		
	10		報道とドキュメント 2「印刷メディアとジャーナリズム」		
	11		ワークショップ(写真集の見方の指南)		
	12		報道とドキュメント 3「フォトジャーナリストの主体化」		
	13		広告写真 1「消費社会の原動力」		
	14		広告写真 2「産業化と社会へのメッセージ」		
	15		広告写真 3「音楽産業の拡大と写真の影響」		
後期	1		芸術と写真①「芸術写真の可能性と限界」		
	2		芸術と写真②「ストレイトフォト」		
	3		写真展観覧		
	4		芸術と写真③「アヴァンギャルド」		
	5		芸術と写真④「日本の「芸術写真」」		
	6		芸術と写真⑤「写真表現と美術館の関係」		
	7		芸術と写真⑥「現代写真の性質」		
	8		ファッションと写真①「ライフスタイルの芸術化」		
	9		ファッションと写真②「多様性の受容」		
	10		写真と身体表現①「ヌード、ネイキッド、ポルノ」		
	11		写真と身体表現②「ヌードの変化」		
	12		写真と身体表現③「「きれいな裸」をめぐる」		
	13		ワークショップ(プリントスタディ)		
	14		自然と写真①「写真史のもうひとつの起源」		
	15		自然と写真②「本能観察と文化人類学的視点」		
評価方法	授業アンケートの質と期末のレポート課題。出席回数は厳守。注意：アンケートや課題に不正（webからのコピペ、他人が書く）が発覚した場合、出席回数の如何にかかわらず落第とします。				
テキスト 参考書	『現代写真論テキスト2021年度版』。日本写真企画のホームページより購入のこと。				
講義の特徴 教員紹介	<p>視聴覚教材を使用しながら、様々な作家を紹介する講義形式を基本とするが、学生との対話なども取り入れる。また授業ごとに学生にはレポートを記入してもらい、担当教員は1993年から写真弘社にある写真ギャラリーアート・グラフ運営担当し、様々な展覧会を企画した。1998年からフリーになり、現在は写真研究者、写真評論家として様々な雑誌などに寄稿し、また写真関連の書籍も出版している。写真表現や写真家に関する豊富な知識に基づいて、写真家やカメラマンとして必要な写真を見る能力を身につけるための授業を展開する。</p>				

2021

区分

必修

対象

1部2年制2年生ドキュ・フォトクリ・ネイチャー・スポーツ

科目名		取材撮影演習		
開講期	前後期		単位数	3
講師名	鈴木 邦弘			
授業概要 到達目標	この授業は、撮影対象をとおして自分なりのテーマ、作品をまとめるための背骨になる部分を学びます。決められた対象から自分なりの企画を考え(アイデア、コンセプト)、実際に撮影に行き(撮影)、その経験を踏まえて企画の見直しを行い(アイデア、コンセプトの修正)、再び撮影に行き(撮影の修正)、最終的な構成を考えそれらの写真群を作品化する(シークエンス、構成)。このような作品作りのために必要なプロセスを短期間で、何回か繰り返して経験し、自分なりのテーマの発見の仕方、それに沿った写真撮影という行為、シークエンス、構成を考え、作品のまとめ方などを身につけることが目的です。			
授業計画	回数	主題・目的	授業予定	
前期	1	授業説明	公園シリーズ、動物園シリーズ、ストリート(商店街なども含む)シリーズ、街シリーズの4本のシリーズを制作してもらいます。撮影場所の決定など(全員同じ場所で撮影をすることが前提)。	
	2	企画書制作	撮影対象、テーマなどの検討	
	3	撮影実習	ロケハンを兼ねて	
	4	企画書見直し	前回撮影した写真、経験を踏まえて、撮影対象、テーマの明確化	
	5	撮影実習		
	6	撮影実習		
	7	課題提出	シークエンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント	
	8	課題提出	シークエンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント	
	9	企画書制作	撮影対象、テーマなどの検討	
	10	撮影実習	ロケハンを兼ねて	
	11	企画書見直し	前回撮影した写真、経験を踏まえて、撮影対象、テーマの明確化	
	12	撮影実習		
	13	撮影実習		
	14	課題提出	シークエンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント	
	15	課題提出	シークエンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A5以上のプリント	
後期	1	企画書制作	撮影対象、テーマなどの検討	
	2	撮影実習	ロケハンを兼ねて	
	3	企画書見直し	前回撮影した写真、経験を踏まえて、撮影対象、テーマの明確化	
	4	撮影実習		
	5	撮影実習		
	6	課題提出	シークエンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント	
	7	課題提出	シークエンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント	
	8	企画書制作	撮影対象、テーマなどの検討	
	9	撮影実習	ロケハンを兼ねて	
	10	企画書見直し		
	11	撮影実習		
	12	撮影実習		
	13	課題提出	シークエンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント	
	14	課題提出	シークエンス、構成を考えたまとまりのある10枚以上、A4以上のプリント	
	15	まとめ		
評価方法	提出課題の平均点を成績とする。			
テキスト 参考書	取材撮影地は変更の可能性があります。			
講義の特徴 教員紹介	撮影してきた作品を講評することを基本とする。担当教員はフリーランスカメラマン、写真家として、数々のドキュメンタリーや社会的な問題を対象としたルポルタージュを発表している。その優れた作品により、伊奈信夫賞を受賞している。いままでの写真家としての豊富な経験や知識に基づき、写真家育成に向けた授業を展開している。			

2021

区分

必修

対象

I部2年制2年
コマ・レタ

科目名	スタイルライティング		
開講期	前後期	単位数	3
講師名	安澤 剛直		
授業概要 到達目標	<p>世の中に必要とされているスタイルライフとは、どんなコンセプトでどんなターゲット層にどのように響かせるか??を写真で表現することが求められています。ライティングによる表現だけでなく、構図、様々なアイデアが求められます。授業としては、ライティングの基礎、一灯ライティングによる表現、多灯ライティングによる表現、光の捉え方を中心に学びます。また、年間を通しての作品作りとコンセプトに合わせた撮影を提案する課題を中心にした実技を多く行います。</p> <p>ライティングの基礎から応用までを学び、広告写真としてどのような写真で表現するかを考え、それを写真として作る事が到達目標です。</p>		
授業計画	回数	主題・目的	授業予定
前期	1		ガイダンス
	2		光のトーン／捉え方 課題（レポート）
	3		四つの基本ライティング 課題（レポート）
	4		ライティングの組み立て方 課題（レポート）
	5	実技	実技：ポートレート基本ライティング 課題あり
	6	講評	講評/ライティング表現 課題提出
	7		撮影準備（図書室など）
	8	実技	実技：ライティング表現①（化粧品） 課題あり
	9	講評	講評/再撮影テスト 課題提出
	10	実技	実技：ライティング表現 再①（化粧品） 課題あり
	11	講評	講評/次回撮影イメージ出し 課題提出
	12	実技	実技：ライティング表現 ②（時計） 課題あり
	13	講評	講評/オフカメラライティング 課題提出
	14	実技	実技：オフカメラ 商品撮影 課題あり
	15	講評	講評/後期 撮影したいものを各自考える 課題提出
後期	1		スタジオテスト撮影／準備
	2	実技	実技：スタジオライティング表現
	3	講評	講評/屋外テスト撮影
	4	実技	実技：屋外ライティング表現
	5	講評	講評/次回撮影準備
	6	実技	実技：スタジオライティング表現（各自）
	7	講評	講評/次回撮影準備
	8	実技	実技：スタジオライティング表現（各自）
	9	講評	講評/次回撮影準備
	10	実技	実技：スタジオライティング表現（各自）
	11	講評	講評/次回撮影準備
	12	実技	実技：スタジオライティング表現（各自）
	13	講評	講評/次回撮影準備
	14	実技	実技：スタジオライティング表現（各自）
	15	講評	講評/締め
評価方法			
テキスト 参考書			
講義の特徴 教員紹介	<p>実際にスタジオにてライティングしながらの実習授業を基本とする。担当教員は大手広告制作会社(株)博報堂フォトクリエイティブに所属し、独立し、その後フリーランスのフォトグラファーとして、独立。ウエディング写真と広告写真の両方をてがけるフォトグラファーとして活躍中。広告写真の基礎を学ぶ授業を展開する。</p>		

2021

区分

必修

対象

1部2年制2年生ドキュ・フォトクリ・ネイチャー・スポーツ

科目名	スタジオライティング		
開講期	前後期	単位数	3
講師名	出水恵利子		
授業概要 到達目標	<p>光の方向性、感性を表現するための、技術力を磨くことを目的とします。画像処理等で仕上げず、撮影力を身につけます。光の考え方、基本ライトポジション、機材の活用方法など。人数によってはグループ分けをし、班ごとのスタジオ演習となります。課題の理解度が低い場合は、授業計画を変更し、同じことを何度も演習します。課題は、授業の時間内スタジオで仕上げる。リモートで参加は、リモート時間ごとに課題を掲げます。リモート授業内で仕上げ、リモート授業時間内終了までに提出してください。年間テーマとして、『音楽のイメージで作品を作る』最後の授業2回で、ご自身の作品を音楽にのせて、30秒以内で作品発表。</p>		
授業計画	回数	主題・目的	授業予定
前期	1	授業概要	機材の使用方法を確認
	2	基礎	ライトポジション、セッティングの基礎の確認
	3	基礎	白バック／白い被写体
	4	基礎	黒バック／黒い被写体
	5	基礎	自由／背景を黒または白で
	6	まとめ①	課題作品発表／課題提出
	7	人物	人物ライティング／ライトポジションの基礎の確認
	8	人物	白バック／人物撮影／コントラストの高いライティング
	9	人物	白バック人物撮影／拡散光（紗幕／バンク等）
	10	人物	黒または、カラーバック／人物撮影
	11	人物	黒または、カラーバック／人物撮影
	12	まとめ②	課題作品発表／課題提出
	13	人物	モデル撮影
	14	人物	課題作品発表／モデル撮影課題提出
	後期	1	光
2		光	透過光イメージ撮影
3		光	写り込みイメージ撮影
4		まとめ③	課題作品発表／課題提出
5		商品	パン撮影
6		商品	パンイメージ撮影
7		商品	ケーキ撮影
8		商品	ケーキイメージ撮影
9		まとめ④	課題作品発表／課題提出／自由撮影
10		応用	人物／背景イメージライティング
11		応用	人物／背景イメージライティング
12		応用	モデル撮影
13		まとめ⑤	課題作品発表／モデル撮影課題提出
14		発表	音楽と作品発表
15		発表	音楽と作品発表
評価方法	授業採点方法は、課題提出と出欠席です。欠席1回につきマイナス3点とします。		
テキスト 参考書	コマーシャルフォト／still Life Imaging(南雲哲彦)		
講義の特徴 教員紹介	スタジオでライティングしながらの実習授業を基本とする。担当教員はフリーランスのフォトグラファーとして、広告写真、商業写真など、多くの仕事を手がけている経験豊富なベテランフォトグラファーである。フリーランスフォトグラファーとしての経験をいかし、スタジオでの商品撮影の基礎を学ぶ授業を展開している。		